

令和6年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
BASIC 級 ロジスティクス

試験問題

(7 ページ)

1. 試験時間 60 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、70題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題70 各1点 合計70点
(合格基準) 試験全体として概ね70%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートの詳しい書き方は最終ページに記載しています。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (9) 解答の方法（真偽法）は次のとおりです。
ア. 1つ1つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
イ. マークシートには正・誤をマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正しいと思う場合には正の欄に、誤っていると思う場合には誤の欄にマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題 1 貨物軽自動車運送事業には、125cc以下の二輪自動車（バイク）や自転車による貨物運送を行う事業も含まれる。

問題 2 鉄道貨物輸送は、一般的に、数トン以上で、かつ500km以上の長距離の輸送に適している。

問題 3 自らは船舶を持たずに、利用運送でドア・ツー・ドアの国際複合輸送を請け負う事業者をトランパーという。

問題 4 一般に、内航海運の輸送トンキロ当たりのCO₂排出量は、鉄道輸送よりも少ない。

問題 5 航空輸送は、他の輸送機関と比較して貨物の損傷・紛失等の事故が少ない。

問題 6 実働率は、延べ実働車両数を月間営業日数で割った数値である。

問題 7 特急コンテナ電車（スーパーレールカーゴ）は、東京ー大阪間を12ftコンテナ輸送専用として運行されている。

問題 8 上屋とは、輸送途中で物資の一時保管又は仮置きするための施設である。

問題 9 倉庫の役割には、物資の需要と消費のバランスの調整がある。

問題10 トラック等を保有している3PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業者を、ノンアセット型3PL事業者という。

問題11 アセット型の3PL事業を進めていくに当たっては、コンサルティングによるシステム提案力が求められるが、物流現場でのオペレーション能力は重要ではない。

問題12 荷主がロジスティクスを円滑に管理するためには、関連する法規制についての知識が必要である。

問題13 包装とは、物品の輸送や保管等に当たって、物品の品質及び状態を維持又は保護するために、適切な材料や容器等を物品に施す技術及び施した状態をいう。

- 問題14 ミルクランとは、1つの車両が定められた運行ルートで複数の発荷主を巡回して引き取り輸送（集荷）を行うことである。
- 問題15 欠品と過剰在庫を削減するために、ロジスティクス部門と生産部門との間で将来の需要予測値を共有することが望ましい。
- 問題16 自動車メーカーにおけるかんばん方式では、完成品メーカーと販売先との間の連携が求められる。
- 問題17 メーカーにおける顧客サービスには、故障時の修理や保守が含まれるが、物流サービスは含まれない。
- 問題18 荷主企業が提供する物流サービスは、ロジスティクス部門が提供するが、生産の遅れ等、ロジスティクス部門単独では制御できないものもある。
- 問題19 顧客と取り決めたサービス水準が達成されているのかを判断するためには、実態を数値化して把握する必要がある。
- 問題20 納品率は基本的に「納品点数÷受注点数」で求める。
- 問題21 ロジスティクスにおける環境対応において、温室効果ガスの排出量削減を検討するのは、輸送時のみである。
- 問題22 物流システムを構成する機能には、流通加工は含まれない。
- 問題23 物流ネットワークとは、物流拠点（ノード）を輸送経路（リンク）でつないだものである。
- 問題24 納品箱に貼られたSCMラベルのバーコードをスキャナで読み取り、納品元から伝送されたASNの納品明細データと照合すると、開梱せずに検品できる。
- 問題25 物流センターからの出荷時に、運送事業者のトラックドライバーは受領書と現物を確認し、車両に積み込む。

問題26 入荷検品では、入荷予定や入荷伝票に対して、実際に入荷したモノと数量の確認を行う。

問題27 拠点設定において、在庫削減を重視する場合は、拠点分散型を採用するのが適している。

問題28 物流センターの運営コスト等を納入業者が負担する方法を、個建単価方式という。

問題29 包装の目的の一つに、取扱いや保管・販売の利便性確保がある。

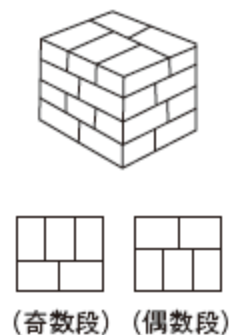
問題30 物流過程で受ける障害から対象製品や包装を保護するために、「天地無用」「上乘厳禁」「火気厳禁」のように短い文字のみで荷扱い方法を指示する場合もある。

問題31 ユニットロードは、パレット、コンテナなどを使って一つの単位にまとめた貨物であり、この目的に合致する1個の大形の物品に対しても適用する。

問題32 ユニットロードの機材は平パレットとコンテナであり、ロールボックスパレットは含まれない。

問題33 パレットへの段ボール箱積付けパターンのうち、地震や輸送時に最も荷崩れし易いものは、ブロック積みである。

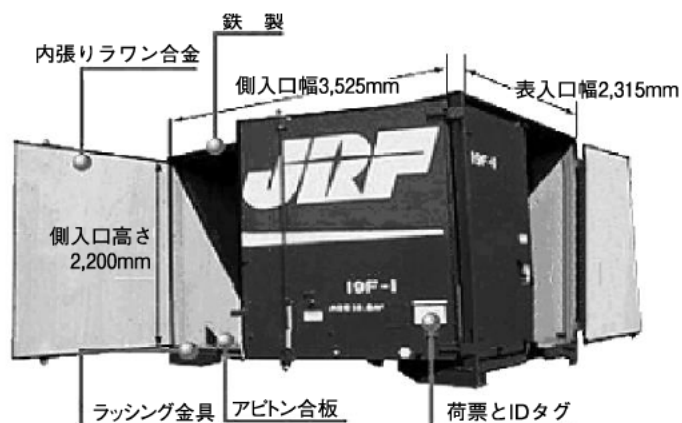
問題34 下図のパレット積付けパターンを、交互列積みという。



問題35 下図は、ボックスパレットである。



問題36 下図は、J R 貨物の12ftコンテナである。



問題37 フレキシブルコンテナは、非危険物の粉粒状貨物を入れて保管もしくは輸送に用いられる袋である。

問題38 保管の主な目的は、需要に対して即座に供給することである。

問題39 保管における波動ロスとは、パレタイズド貨物からのケース出荷があり、フルパレットでなくなった状態を指す。

問題40 普通倉庫の保管料・荷役料は、国土交通省が定めている。

問題41 3期制の営業倉庫保管料では、ある特定の貨物の前月末からの繰越在庫（前期繰越在庫という）は0個、8日に100個入荷して22日に100個出荷した場合の積数^{せきすう}は、300個となる。

問題42 貨物の保管やピッキングに使用される中軽量ラック（棚）は、ラックの自重の大小によって中量ラックと軽量ラックに区分される。

問題43 パレタイズド貨物がラックの背面から前面に流れてくるパレットラックを、流動ラック（フローラック）という。

問題44 荷役とは、物流過程における物資の積卸し、運搬、積付け、ピッキング、仕分け、荷揃えなどの作業のことである。

問題45 荷役作業には、建屋内や敷地内の運搬は含まれない。

問題46 集約ピッキングとは、受注したオーダーをまとめた後、製品アイテム別に集約してピッキングをした後に、出荷先別などに再仕分けを行う方法である。

問題47 ピッキングには、印刷されたピッキングリストによる方式だけでなく、ハンディ端末に表示されたロケーションと数量で行う方式等も導入されている。

問題48 パレタイズド貨物の場合、リーチフォークリフトは、カウンタバランスフォークリフトよりも棚への積付けに当たって広い通路幅が必要である。

問題49 仕分け装置（ソーター）は、個々に行き先情報を与えられた商品の入った段ボール・折りたたみコンテナなどを、所定の位置に仕分けるコンベヤである。

問題50 自家輸送は、一般的には、復荷の確保などができずに、運行効率が営業輸送よりも悪くなり、コスト高になりやすい。

問題51 輸送の役割の一つとして「Right Product」がある。

問題52 宅配などで使用される軽トラックとは、総排気量が660cc以下かつ最大積載量が350kg以下のトラックである。

問題53 特別積合せ貨物運送の運賃（宅配便を除く）は、質量と距離によって運賃が決められるが、その質量とは、はかりで量った質量のことである。

問題54 国内航空貨物において、荷送人が直接航空会社やその代理店に委託した場合の小口貨物運賃は、混載業者に委託する混載貨物運賃よりも割安に設定されている。

問題55 最適な輸配送ネットワークは、価格や緊急性等の貨物特性によって異なる場合が多い。

問題56 各物流拠点からの配送エリアを、配送効率の観点から決めるときは、行政区域にとられず、道路や地形状況等の地理的条件から決める方が合理的である。

問題57 配車担当者が配車支援ソフトを利用する場合は、同ソフトが作成した計画どおりに配車を確定させる。

問題58 中型免許の受験資格は、18歳以上である。

問題59 QRコードは、2次元シンボルの一種である。

問題60 集合包装用商品コードの桁数は、JANコードの桁数と同一である。

問題61 オンライン受注は、受注側のオーダーの再入力が必要なので、正確性・迅速性に優れている。

問題62 オーダー管理の対象となるオーダーに、在庫未引当のオーダーは含まれない。

問題63 小売業者が卸売業者やメーカーに電子的に発注する場合、EOS端末等を用いる。

問題64 発注量は、過去の販売量、現在の在庫量、発注処理システムが計算・推奨する発注量などを参照して決定する。

問題65 棚卸では、棚卸表や携帯端末機を用いて在庫の実数とコンピュータに記録されている在庫量の差異を調査する。

問題66 シールピッキングとは、ピッキングする対象商品の数量と同じ枚数のシールを事前に印刷し、ピッキングした商品に1枚ずつ貼っていくピッキング方式のことである。

問題67 運行管理システムの導入により、得意先・取引先からの車両手配依頼、運行・車両状況や配送状況に対する問合せへの迅速な回答などが可能になる。

問題68 宅配便の貨物追跡システムでは、届け先の郵便番号がバーコード化されており、それを通過ポイントでスキャンすることにより貨物の位置を追跡する。

問題69 出荷頻度分析とは、品目ごとの1日当たりの出荷量を調べるものである。

問題70 在庫回転率は、「在庫保有量÷年間の総出荷量」で求める。